

経営比較分析表（令和2年度決算）

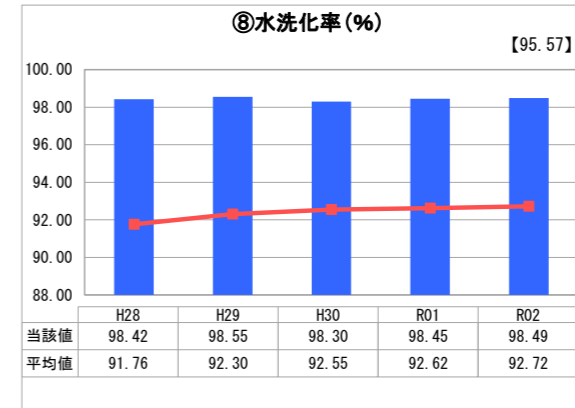
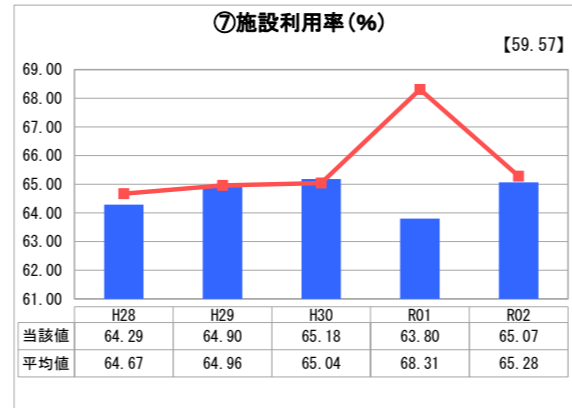
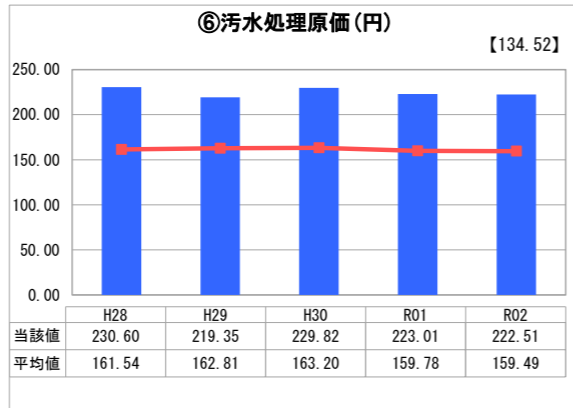
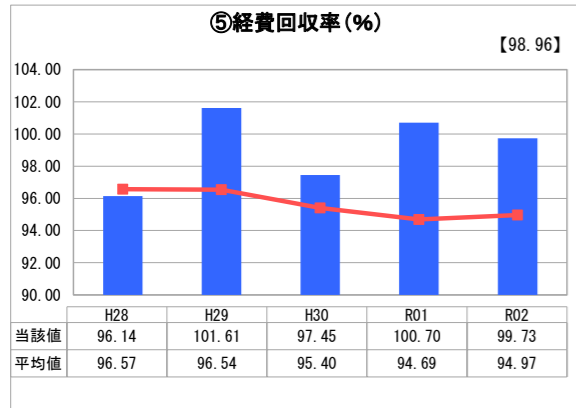
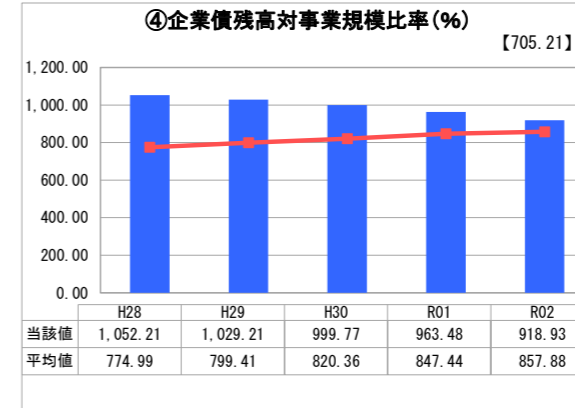
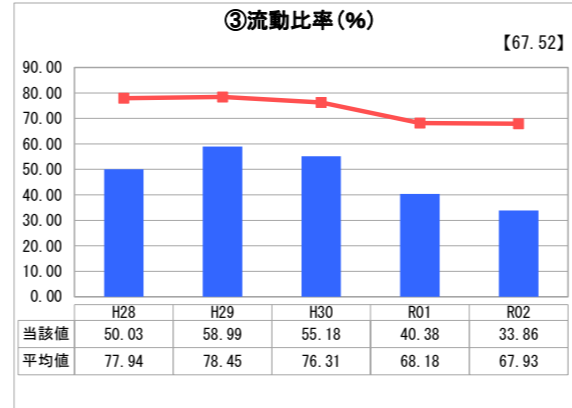
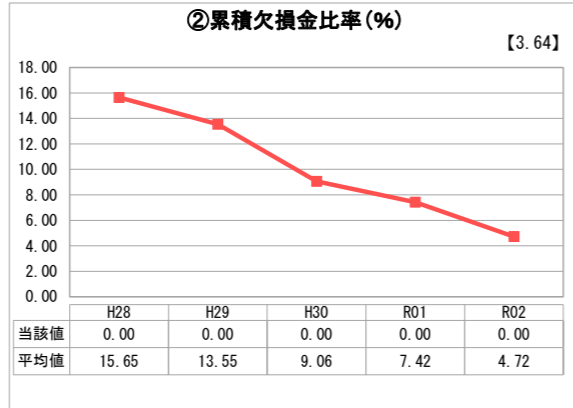
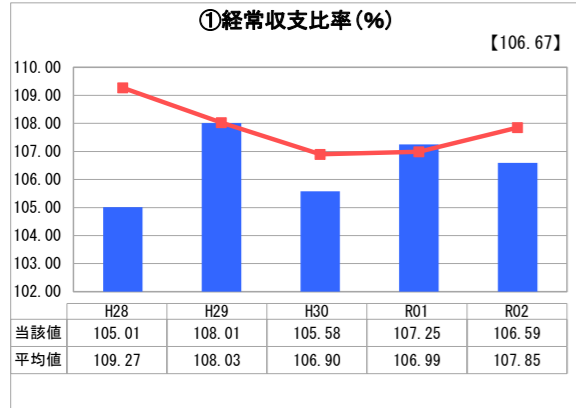
長野県 塩尻市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	51.25	77.29	79.12	3,980

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
66,730	289.98	230.12
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
51,354	14.00	3,668.14

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

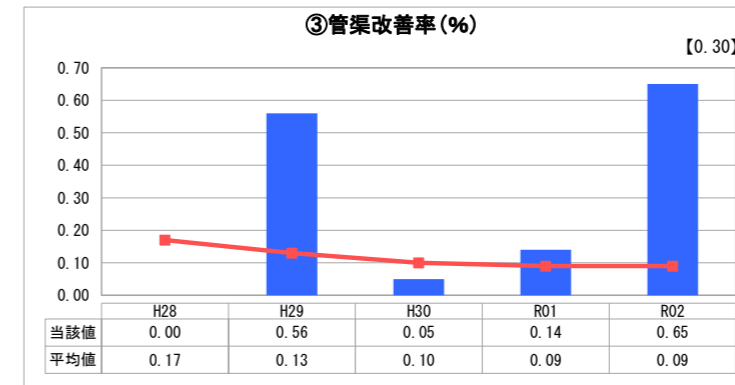
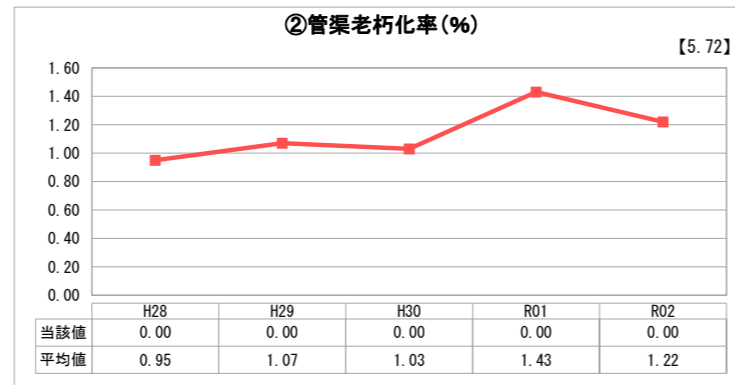
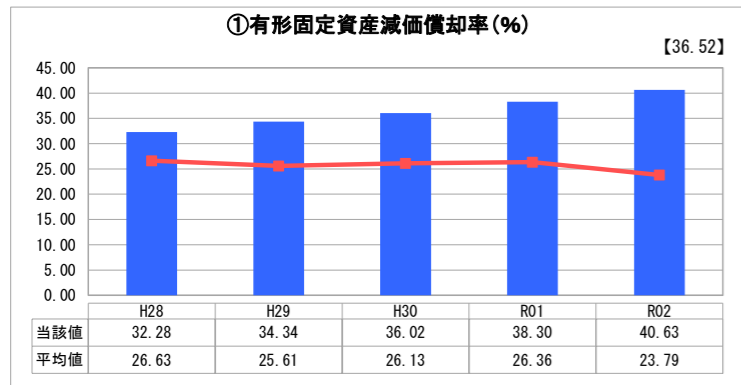
- ① 経常収支比率は100%以上を維持し、経常損益は黒字となっています。
- ② 累積欠損金比率は0%で、欠損金は発生していません。
- ③ 流動比率は100%を超えておらず、類似団体平均を下回り、低い水準となっています。流動資産は、平成30年度以降、資金残高の減少に伴い現金預金が減額となっています。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均よりも上回っています。企業債残高は毎年度減少していますが、数値は減少しています。
- ⑤ 経費回収率は、類似団体平均を上回っています。しかし、数値が100%を下回るため、下水道使用料の在り方に合わせた経営の効率化が必要です。
- ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均よりも上回っています。汚水処理費の一部に公費負担分を充当していますが、⑤経費回収率と併せて考慮すると、他団体に比べ公費負担率が少ない傾向です。今後、老朽化に伴う管渠等の修繕費や維持管理費の増加により、数値が高まることが考えられるため、費用の効率化等に取り組んでいきます。
- ⑦ 施設利用率は、類似団体平均を下回り、低い水準となっています。施設の利用状況や適正規模を判断し、施設の規模と機能の抑制を検討するなかで、施設利用率の向上に努めます。
- ⑧ 水洗化率は98%を超え、類似団体平均を上回り、高い水準を維持しています。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均よりも上回っています。数値は、毎年度上昇し、保有資産の老朽化が進んでいることを示しています。
- ② 管渠老朽化率は0%で、法定耐用年数を経過する管渠はありません。
- ③ 管渠改善率は、平成29年度は、事前調査結果に基づき管渠更生工事を集中的に行い、施設の長寿命化に取り組みました。

現在、管渠については老朽化を示す状況ではありませんが、今後5年以内に法定耐用年数を経過する管渠が出てくることから、ストックマネジメント計画に基づき、管渠更生工事を進めていきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後の下水道事業経営にあたっては、水洗化率の大幅な向上が見込めないなか、人口が減少することから、下水道使用料は減収となっていくことが予想されます。

一方、施設の老朽化に伴う更新投資の増大、被災時の下水道機能の確保や災害防止の取り組みの強化のため、多額の投資が必要となります。

投資と財政のバランスに配慮し、長期的視野に立った効率的で効果的な事業展開を図り、更なる経営改善に取り組むことで、健全で持続可能な事業経営に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。